

# 令和7年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 西門司 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、6年生を対象として、令和7年4月17日（木）に、「教科（国語、算数、理科）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月18日から4月30日の間）に「児童質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）

教科に関する調査（国語、算数、理科）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問調査

児童質問調査
○ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

#### (1) 全国・本市の学力調査（国語、算数、理科）の結果

本年度の結果	国語		算数		理科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.9	64	8.6	54	9.1	53
全国	9.4	67	9.3	58	9.7	57

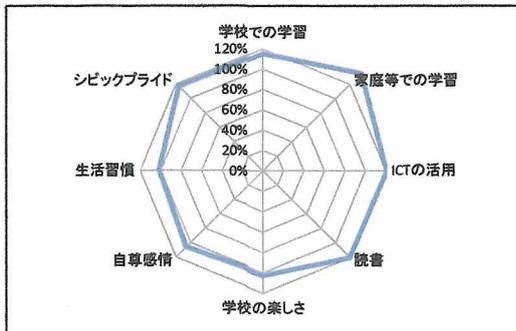
#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	全国・県平均と比較してもわずかに下回っている。 話すこと・聞くこと分野では、全国・県平均を上回ることができた。	全国平均正答率との比較	下回っている
	よくできた問題	図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き方を工夫すること問題		
	努力が必要な問題	文章の構成の工夫を説明したものを選択する問題		

算数	全体的な傾向や特徴など	全国・県平均と比較すると学習に関する意欲が低い。 図形に関する知識や資料からデータを読み解く力の定着が課題である。	全国平均正答率との比較	下回っている
	よくできた問題	角の大きさについての問題		
	努力が必要な問題	伴って変わる二つの数量の関係に着目する問題		

理科	全体的な傾向や特徴など	全国・県平均と比較すると学習に関する意欲が低い。 エネルギーを柱とする領域を考える力が課題である。	全国平均正答率との比較	下回っている
	よくできた問題	レタスの種子の発芽条件についての問題		
	努力が必要な問題	顕微鏡を操作して、適切な像にするための技能を要する問題		

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



全国平均を100としたときの本校の割合

質問調査の結果分析	
・先生はあなたのよいところを認めているのかという問いに対して、全員が認めてくれていると回答している。日々の中で、児童と担任が相談できる体制や話を聞く場の設定を設けている。	
・学習のなかで、ICTを活用した授業場面を設定している。効果的なICTの活用、個別最適な学びのツールとして、補充学習にも役立っている。	

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

本校の主題研究である、国語科学習を中心に、基礎・基本的な学力の定着を図る。また、全校で音読・読書活動・デジタルアプリの活用などの推進していく。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

学校と家庭が連携して、学年に応じた家庭学習の時間と質を高めていく。GIGA端末の学習アプリや自主学習ノートを積極的に活用し基礎学力の向上に努める。

1 実施学年・調査内容

- ◇ 実施学年 市立小学校(126校)・関係特別支援学校(2校) 第6学年  
市立中学校( 63校)・関係特別支援学校(1校) 第3学年
- ◇ 調査内容 ① 教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)  
② 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

2 調査集計者数 児童数 6,892人 生徒数 6,586人

3 調査日 令和7年4月17日(木) ※ オンライン調査については文科省が指定した日程

主な結果

令和7年度	小学校 国語			割合	小学校 算数			割合	小学校 理科		
	正答数	正答率	割合		正答数	正答率	割合		正答数	正答率	割合
本市平均	8.9 / 14 問	64%	96%	8.6 / 16 問	54%	93%	9.1 / 17 問	53%	93%		
全国平均	9.4 / 14 問	67%		9.3 / 16 問	58%		9.7 / 17 問	57%			

令和7年度	中学校 国語			割合	中学校 数学			割合	中学校 理科	
	正答数	正答率	割合		正答数	正答率	割合		平均IRTスコア	割合
本市平均	7.4 / 14 問	53%	98%	6.7 / 15 問	45%	94%	492	98%		
全国平均	7.6 / 14 問	54%		7.2 / 15 問	48%		503			

「割合」…全国平均正答率に対する本市の平均正答率の割合

【分析結果1(国語)】

- 「話すこと・聞くこと」の「話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる」問題に改善がみられる。  
(小学校 全国比と同等)
- 記述式の問題に課題がみられる。(小学校全国比 R6: +2.0pt→R7: -4.1pt)  
(小学校:「複数の資料を読み、考えたことをまとめる問題」全国比: -3.8pt)  
(中学校:「手紙を推敲する問題」全国比 R7: -1.2pt)

【分析結果2(算数・数学)】

- 「データの活用」領域において、正答率の全国比に一部改善がみられる。(小学校:算数 昨年度比+0.8pt)
- 「思考・判断・表現」の問題に課題がみられる。  
(小学校:算数「分数の計算の仕方について統合的・発展的に考察する問題」正答率:20.8%、無解答率:16.9%)  
(中学校:数学「平行四辺形について証明を振り返り、統合的・発展的に考察する問題」全国比-4.3pt)

【分析結果3(理科)】

- 生命領域やエネルギー領域での概念的知識と実生活のつながりを問われる問題に改善が見られる。  
(中学校:「呼吸を行う生物を選ぶ問題」全国比+2.1pt、「気圧に関する事象を問う問題」に全国比+2.8pt)
- 実験結果や、図、動画などの視覚情報を根拠に思考し、説明する問題に課題がみられる。  
(小学校:「水がしみ込む理由を記述する問題」全国比-5.8pt、中学校「化学変化をモデルで再現する問題」全国比-3.3pt)

【分析結果3(児童生徒質問調査)】

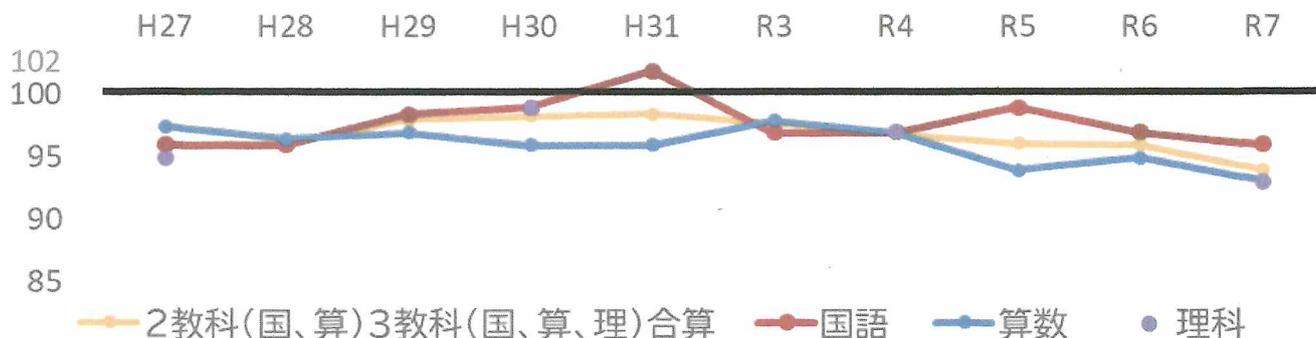
- 「自分にはよいところがある」「学校に行くのは楽しい」が、小・中ともに前年度を上回っている。  
(「自分にはよいところがある」小学校前年度比+3.5pt、中学校前年度比+3.0pt)
- 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」について小・中ともに前年度を上回っている。(小学校前年度比+6.5pt、中学校前年度比+7.8pt)
- 「5年生(1,2年生)までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」について、小・中ともに前年度を上回っている。(小学校前年度比+2.1pt、中学校前年度比+3.1pt)

【考察及び今後の方向性】

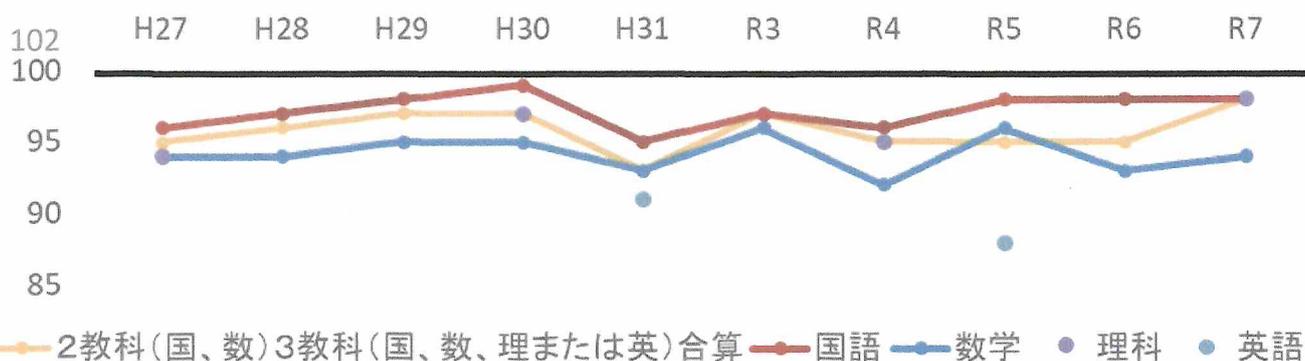
- 「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善をさらに推進していく。
  - ・ 学校の自律・自走に向けた組織的な取組の推進(マネジメント支援訪問、学校力向上支援訪問 等)
  - ・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業への改善・充実に向けた「学びの転換」の推進
- PC・タブレットなどのICT機器活用の質的な向上を目指す。
  - ・ 新しいタブレット端末(Chromebook)の活用研修の実施、リーディングスクールの公開授業

■ 全国平均正答率に対する割合(平成27年度～令和7年度)

小学校(国語、算数、理科(H27、30、R4、R7のみ) 合算)



中学校(国語、数学、理科(H27、30、R4、R7のみ)、英語(H31、R5のみ)合算)



小学校		国語	算数	理科	合計	中学校		国語	数学	理科	英語	合計
R4 年度	本市	64	61	61	186	R4 年度	本市	66	47	47		160
	全国	66	63	63	192		全国	69	51	49		169
	対全国比	97%	97%	97%	97%		対全国比	96%	92%	95%		95%
R5 年度	本市	66	59		125	R5 年度	本市	69	49		40	158
	全国	67	63		130		全国	70	51		45	166
	対全国比	99%	94%		96%		対全国比	98%	96%		88%	95%
R6 年度	本市	66	60		126	R6 年度	本市	57	49			106
	全国	68	63		131		全国	58	53			111
	対全国比	97%	95%		96%		対全国比	98%	93%			95%
R7 年度	本市	64	54	53	171	R7 年度	本市	53	45	492		590
	全国	67	58	57	182		全国	54	48	503		605
	対全国比	96%	93%	93%	94%		対全国比	98%	94%	98%		98%